

## 令和2年度決算のあらまし

### 1. 概要

令和2年度においては、平成28年度に策定した「淡路広域水道企業団水道事業ビジョン」及び「経営戦略」に基づき、投資の合理化等を図りながら、基幹浄水場の改修や重要施設の設備更新、老朽管の更新を実施しました。また、経営状況では、人口減等による給水収益の減少や高料金対策補助金の減少から、収入全体で、対前年度2億7千万円余減の63億円余となったものの、減価償却費や企業債利息の減などにより、支出全体で、対前年度1億1千万円余減の62億2千万円余となり、純利益が1億3千万円余となっております。

今後も、施設の統廃合による投資規模の適正化や適時の点検・補修による施設の長寿命化により更新費用を抑制するなど、更に計画的かつ効率的な事業経営を図って参ります。

### 2. 業務量

区 分	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
(1) 給水人口（人）	131,115	132,320	△ 1,205	△ 0.9%
(2) 給水栓数（栓）	64,908	64,512	396	0.6%
(3) 年間配水量（m <sup>3</sup> ）	17,118,881	17,355,589	△ 236,708	△ 1.4%
(4) 1日平均配水量（m <sup>3</sup> ）	46,901	47,420	△ 519	—
(5) 1日最大配水量（m <sup>3</sup> ）	53,572	56,132	△ 2,560	△ 4.6%
(6) 年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	14,426,707	14,602,541	△ 175,834	△ 1.2%
(7) 有収率（%）	84.27	84.14	0.13 <sup>ポイント</sup>	—
(8) 職員数（人）	59	62	△ 3	—
(9) 供給単価（円/m <sup>3</sup> ）	283.83	306.97	△ 23.14	—
(10) 給水原価（円/m <sup>3</sup> ）	375.99	381.46	△ 5.47	—
(11) 資本単価（円/m <sup>3</sup> ）	213.52	221.88	△ 8.36	—

### 3. 財政の状況

【税抜：千円】

区 分	令和2年度	令和元年度	増減	増減率
(1) 収益的収入	6,358,554	6,631,833	△ 273,279	△ 4.1%
給水収益	4,094,689	4,482,558	△ 387,869	△ 8.7%
補助金、負担金	1,389,945	1,306,336	83,609	6.4%
長期前受金戻入額	796,693	769,903	26,790	3.5%
加入金 外	77,227	73,036	4,191	5.7%
(2) 収益的支出	6,223,027	6,341,849	△ 118,822	△ 1.9%
(3) 純利益	135,527	289,984	△ 154,457	△ 53.3%
(4) 留保資金残高	5,179,230	5,192,364	△ 13,134	△ 0.3%
(5) 地方債現在高	28,238,122	29,998,845	△ 1,760,723	△ 5.9%
当年度発行額	694,900	798,000	△ 103,100	△ 12.9%
当年度償還額	2,455,623	2,403,066	52,557	2.2%
(6) 他会計からの繰入金 <sup>注)</sup>	1,344,679	1,261,545	83,134	6.6%
上水道料金軽減対策補助金	109,946	0	109,946	皆増
高料金対策分	1,194,381	1,214,736	△ 20,355	△ 1.7%
統合簡水分	31,221	35,248	△ 4,027	△ 11.4%
消火栓維持管理 外	9,131	11,561	△ 2,430	△ 21.0%

注) 収益的支出に対する繰出金

#### 4. 工事の状況

【税抜：千円】

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
建設改良費	1,423,915	1,374,331	49,584	3.6%
(主な工事内容)				
・ 上田浄水場電気設備更新工事 (95,284,750円)				
・ 明石大橋大伸縮装置取替工事 (203,500,000円)				
・ 県道広田洲本線外配水管布設替工事 (93,480,000円)				
・ 楠本東地区管路更新工事 (125,668,000円)				

#### 5. 損益計算書

【税抜：千円】

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
(1) 水道事業収益	6,358,554	6,631,833	△ 273,279	△ 4.1%
営業収益	4,116,952	4,506,939	△ 389,987	△ 8.7%
営業外収益	2,241,576	2,124,708	116,868	5.5%
特別利益	26	186	△ 160	△ 86.0%
(2) 水道事業費用	6,223,027	6,341,849	△ 118,822	△ 1.9%
営業費用	5,658,864	5,719,812	△ 60,948	△ 1.1%
営業外費用	562,126	620,441	△ 58,315	△ 9.4%
特別損失	2,037	1,596	441	27.6%
(3) 純利益	135,527	289,984	△ 154,457	△ 53.3%

#### 6. 貸借対照表

【税抜：百万円】

区 分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
(1) 資産合計	87,409	89,508	△ 2,099	△ 2.3%
固定資産	81,874	83,937	△ 2,063	△ 2.5%
流動資産(現金預金、未収金等)	5,535	5,571	△ 36	△ 0.6%
(2) 負債合計	49,278	51,664	△ 2,386	△ 4.6%
繰延収益	20,612	21,217	△ 605	△ 2.9%
企業債	28,238	29,999	△ 1,761	△ 5.9%
引当金(修繕及び賞与引当金)	103	103	0	0.0%
未払金 外	325	345	△ 20	△ 5.8%
(3) 資本合計	38,131	37,844	287	0.8%
資本金	31,553	31,401	152	0.5%
剰余金(資本/利益剰余金)	6,578	6,443	135	2.1%
負債・資本合計	87,409	89,508	△ 2,099	△ 2.3%

#### 7. 資金不足比率

会計	令和2年度資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20%

注) 資金不足額がない場合は「—」と表記しています。